

2016年熊本・大分地震

災害調査団 報告会

～熊本の大地・新たな伝承の始まり～



平成 28 年 4 月に発生した熊本地震から 1 年が経過しました。

日本応用地質学会・九州応用地質学会では、地震直後から地震被害調査に取り組んできました。

今回の報告会は、その結果をお伝えします。熊本の皆さんに大地の成り立ちを知っていただいた上で、熊本地震被害の地学的な正しい理解を深めてもらい、今後の復旧と持続可能な故郷づくり、さらには効果的な地震防災対策の立案に貢献できればと思います。

今回の報告会は、一般の方を主な対象とし、復興に向けた震災関連の業務・工事等に携わる方々も含め、「わかりやすい」報告会にしたいと考えております。

一般の方からの質問相談会も予定しておりますので、皆さまのご参加をお待ちしております。



日 時：平成 29 年 4 月 29 日（土）[開場]13:30[開会]14:00-16:30

場 所：くまもと県民交流会館 10F パレアホール

(熊本市中央区手取本町 8-9 テトリア熊本ビル)

定 員: 300名 C P D: 2.0 ポイント

參加費：無 料

事前申し込み：必要（平成29年4月21日締切）



申し込みは日本応用地質学会事務局 (Fax: 03-3259-8233、E-mail: office@jseg.or.jp) またはジオ・スクーリングネット (<https://www.geo-schooling.jp/>) まで、メールかFaxでお申し込みください。（プログラム、申し込み用紙は裏面をごらん下さい）

主 催：一般社団法人日本応用地質学会・九州応用地質学会

後援：熊本県、公益社団法人地盤工学会

2016 熊本・大分地震災害調査団 報告会 ~熊本の大地・新たな伝承の始まり~

開場・受付	13:30 - 14:00	(リーフレット、アンケート用紙、質問票を配布)
開会案内	14:00 - 14:05	総合司会 大石 博之 (西日本技術開発)
開会挨拶	14:05 - 14:10	黒木 貴一 (福岡教育大学)
第一部 講演	14:10 - 15:30	
1. 熊本地震を取り巻く地体環境 (20分)		花村 修 (九州地質コンサルタント)
2. 地震の歴史と伝承 (20分)		坂本 省吾 (中央土木コンサルタント)
3. 熊本地震で何が起きたのか (40分)		
3.1. 地震断層について		矢野 健二 (ジオテック技術士事務所)
3.2. 斜面災害について		山本 茂雄 (中央開発)
休憩	15:30 - 15:45	(質問票の回収、質問アラカルトの準備)

第二部 未来への展望 ~質問アラカルト~

質問票を基に進行、地域地質の成り立ち、宅地被害、今後の災害防止

15:45 - 16:25

司会 宮崎 精介 (九州地質コンサルタント)

閉会挨拶	16:25 - 16:30	日本応用地質学会会長 脇坂 安彦
------	---------------	------------------

2016 熊本・大分地震災害調査団 報告会 参加申込書

申込先 (問い合わせ先も同じ) (一社) 日本応用地質学会事務局
FAX : 03-3259-8233 E-mail : office@jseg.or.jp

日時 : 平成 29 年 4 月 29 日 (土) 開場 13:30 報告会 14:00 - 16:30

会場 : くまもと県民交流会館 10F パレアホール (熊本市中央区手取本町 8-9)

■企業名／団体名	
■TEL	■E-mail (代表者)
■参加者氏名	■参加者氏名
■参加者氏名	■参加者氏名

* 上記個人情報は、当報告会事務局内での事務処理、参加者への返信・連絡に限り利用いたします。

* E-mail で申し込まれる場合は、メールタイトルを「熊本・大分地震災害調査団報告会参加申込」とした上で、上記事項を本文に記入し、送信してください。

申し込み締切は4月21日(金)ですが、定員に達し次第、締め切らせていただきますので、お早めに申し込み下さい。